

指定管理施設（総合福祉センター）事業評価表

母子・父子福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	H30 年度	R元 年度	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	
交流事業	1	夏季交流事業 (はじめてのプログラミング体験)	1	6/30	2020年から小学校で必修化されるプログラミングに触れながら、ひとり親家庭の子ども同士の交流の場とする。	12	13	1	26	1	54	0	28	・例年、野外体験を行っていたが、真夏の野外活動は熱中症等の危険性も高く、事業内容の検討を行い、室内で活動できるもので、対象家族の興味を引く企画として、2020年から小学校で必修化されるプログラミング体験を企画・実施。 ・参加者：54名（小学生14名／中学生4名／母親14名／幼児6名／NTTドコモ社員・ボランティア16名） ※センター初利用3家族 ・内容：ダンボールロボットとタブレットを使ったプログラミング体験及びスマホ・ケータイ安全教室（保護者向け） ・参加者の殆どがプログラミングは初めてだったが、NTTドコモスタッフの手厚いサポートで最後まで楽しむことができた。 ・保護者向けの安全教室は自由参加としたが、殆どの方が参加、この地域で起きている子どものスマホによるトラブル実例や、巻き込まれないための対策について学んでいた。
		社会見学 ①(春:ブルーメの丘) ②(秋:おやつタウン)	2	①6/2 ②11/10	親子で出かける機会を提供し、参加者同士の仲間づくりや体験学習の場を目的とした交流事業の一環として行う。			2	83	2	91	0	8	①春のわくわく体験ツアー(6/2) ・参加家族：17家族 45名 ※センター初利用1家族 ・内容：アイスクリーム作り体験、動物とのふれあい、遊具 等 ・受付初日に定員以上の申込があり、キャンセル待ち対応となった。 ・今回初利用の家族は、他の参加者の紹介で申込、参加者からの口コミでも利用者が増えていると感じた。 ・子どもが多い家族(3,4人)の参加も多いが、アイスクリーム作り体験では職員がフォローに入る等、母親の負担を減らす配慮をした。 ・アンケートでは、バスの中でも子どもが飽きないようにゲームをしてもらえてよかったとの感想を多くいただくことができた。 ②秋のわくわく体験ツアー(11/10) ・参加家族： 16家族 46名 新規3家族 ・内容：おやつタウン散策、ベビースターレーメン作り体験 ・新規施設ということもあり、申込日早々に定員を超える応募がありキャンセル待ちも6組あった。 ・アンケートには行きたいと思っていた施設に行くことが出来、楽しむことが出来よかったとの意見が多くいただけた。今後も行き先をアンケートや他の参加者からの意見を参考に決めていきたい。
		冬季交流事業 (スキー・スノボツアー:駒ヶ根高原スキー場)	1	1/19	ひとり親家庭の親子が、親子だけでは容易に体験できないと思われるスキーやスノーボード、雪遊びを通して、参加者同士の交流を図る。			1	38	1	36	0	△ 2	・参加家族:12家族 30名 新規4家族 ・内容:スクールによる専門指導、フリー滑走 ・申込14家族 34名(子供の体調不良によるキャンセル) ・初めて参加される方(4組・10名)も見えた。 ・スクール班ごとに職員が1人先生をサポートし、スムーズに教室を行きかえも無事に終了することができた。 ・子ども達も頑張って最後までスクールを楽しみ、初心者の子たちもフリー滑走では、滑れるようになった子が多かった。 ・アンケートには、「自分の運転では連れてくるのが出来ないで、子どもに良い経験をさせることができた。」や「子どもたちも喜んでいたのでまた参加したい」との声が多かった。 ・スクールバス代の一部を赤い羽根共同募金会の配分金を利用し、参加者の負担を軽減できるよう価格の設定が出来た。
		寡婦交流事業 (園芸教室(2回)、らくらく筋力アップ体操、座って生き生き体操、盆踊りの練習、しめ縄作り)	6	5/22 5/26 6/13 7/29 7/31 12/11 12/21	寡婦の方の健康に関することや季節行事を通じ交流を図る。			7	187	7	215	0	28	・園芸教室は定番の教室として、友だちを誘って参加される方もおられ、参加者同士の交流の場となっていた。 ・らくらく筋力アップ体操は、寡婦会総会に合わせ実施、普段あまりセンターまで来られない方にも参加していただくことができた。 ・座って生き生き体操は、普段運動習慣のない方でも気軽に参加できるような内容で、無理なく楽しみながら体験していただけた。 ・盆踊り練習は、デイサービス・老人センター・児童センターと合同で行い、多世代交流の場となっている。後日開催の「でこぼこ夏まつり」にも参加いただき、みんなで楽しむことができた。 ・しめ縄作りは9組の参加(4組親子参加)があり、子どもたちが積極的に作業する姿が見られ、家に飾るのを楽しみにしていた。
		小計	10	—		小計		11	334	11	396	0	62	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	H30 年度	R元 年度	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	
ひとり親支援事業	1	夏季休暇中の一時預かり (わくわくキッズクラブ)	20	夏休み 20日間	夏休みの期間中、ひとり親家庭の小学生を対象に、遊びや自由勉強をしながら規則正しい生活を送れるよう、子どもの活動の場を提供するとともに、保護者が安心して仕事に出られることを目的とする。	14	14	24	312	22	246	△ 2	△ 66	・参加児童:10名(初参加1名) ・内容:自主学習・調理実習・工作・外出・多世代交流など ・小2(2) 小3(4) 小4(2) 小5(2) ・たじっこクラブを利用していない児童を対象とした。夏休み期間の関係で前年より2日減少したが、初日から最終日まで実施。 ・前年度に続き週に1回程度お弁当を注文できる日を設置、ほとんどの方が利用し、アンケートでも「助かった」との声が多かった。 ・延人数の減少理由は、定員10名に対し前年度は14名受け入れたが、R元年度は10名ちょうどの申込だったため。 ・活動の部屋に見合う人数で実施できたため、スムーズに活動を行うことができ、トラブルやケガもなく事業を実施できた。 ・多治見市や岐阜県のおとどけセナー等を活用し、普段できないことを経験したり、外出事業では公共交通機関を利用して外出時のマナー等を学ぶ機会を設けた。 ・保護者からは、夏休みの宿題がやれたり、毎日いろいろな活動ができることに加え、子ども自身が毎日とても楽しそうに通ってくれたことがよかったとの意見をたくさんいただくことができた。 ・中学生や社会人ボランティアの参加も例年以上に多くあり、いろいろな人との関わりがもてた。
		児童学習支援 (子ども習字教室)	24	第1・3月曜日	ひとり親家庭の子どもの知識や技能の習得をする。	13	13	24	304	22	151	△ 2	△ 153	・参加児童:7名(新規3名) ・昨年は6年生の参加者が4名あり、卒業したため新規の参加者があるか心配をしたが、新規が3名あった。 ・ 新型コロナウイルス拡散防止のため教室を2回中止。 ・参加延べ人数が昨年より少ないのは、参加人数の減少に加え、昨年度は親や兄弟と一緒に見守り等参加されたのに対し、先生と少し話をしたら一度帰る方が多かったため。 ・先生からとても熱心・丁寧に指導していただき、子どもたちも頑張って何枚も書いている姿が見られた。
		就労支援講座 (子育て家庭のマネープラン)	1	5/12	進学にかかる費用など、今後必要な費用を確認し、働き方の見直しやキャリアアップの必要性などを考えるきっかけづくりの場とする。	11	11	1	14	1	17	0	3	・講師は県のセミナーで実績のある方に依頼。 ・女性の講師で、母親目線でお話していただいたことで、参加者にとって飲み込みやすい内容だった。 ・アンケートでは、マネープランについてもっと詳しく知りたいという意見が多かった。 ・例年、就労支援講座は参加者が集まらないため、託児サービスのない小学生以上を対象に「母の日のプレゼント作り」を同時に実施。そのため、これまで子どもを預けることができず参加できなかった方も参加いただくことができた。
		小計	45	—		小計		49	630	45	414	△ 2	△ 216	
相談業務	1	子育て相談		随時	ひとり親家庭の自立生活を手助けする。 相談内容に応じて、適切に関係機関に繋げる。	11	11	3	3	4	4	1	1	・離婚による手当の相談が2件あった。 ・家族の病気による生活費の相談や保育園に預かりの拒否を受けた方の相談などもあり、関係部署に取り次ぐことが出来た。
		生活一般相談		随時				15	18	5	5	△ 10	△ 13	
		小計	0	—		小計		18	21	9	9	△ 9	△ 12	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	H30 年度	R元 年度	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	
交 流 事 業 （ 自 主 ）	2	<ひとり親家庭交流サロン>				8	10							・デイキャンプは児童センターと合同で開催。チーム対抗レクリエーションでは、高学年が低学年の子をフォローしながらみんなで協力する姿が多く見られた。また、今年は新たな試みとして、午後から障害者センターの利用者と一緒に納涼会を行い、障がいをもたれる方とのふれあいの場も作ることができた。 ・クリスマス会は毎年楽しみに参加される方も多く、39名が参加。バルーン作り、おやつ作り等を実施、バルーン作りでは親子と一緒に楽しんでもらうことが出来た。 ・新入学お祝い会は、新型コロナウイルス拡散防止により開催が中止。しかし、13組36名の申込みがあり、プレゼントは既に発注してあったため、後日取りに来ていただいた。子供さんと一緒に取りにみえる方が多く手渡す際の笑顔が印象的だった。 プレゼントは既製品だけでなく、手作りのものも用意し後日メールで喜んでいただいていることが確認できた。
		デイキャンプ	1	7/25	季節行事を通して、親子のふれあいの場、参加者同士の仲間づくりの場を提供する。			4	170	4	117	0	△ 53	
		クリスマス会	1	12/15										
		バレンタインチョコ作り	1	2/8										
		新入学お祝い会	1	3/8										
		<多世代交流事業>				12	12						・デイサービスとの手話交流では、参加するだけではなく、どうしたら高齢者の方に喜んでいただけるか、ということも子どもたちが意識できるよう、話し合いなどを行うよう工夫した。 ・老人福祉センター主催のわいわい教室では、高齢者と一緒に3つのグループに分かれてゲームを楽しみ、お互いに応援し合ったりしながら楽しく交流ができた。 ・縁日は、当日の午前中台風で警報が発令されていた影響で子どもの参加者が少なく残念だった。しかし、ゲームの補助やおやつ配布など、子どもたちも積極的に手伝ってくれていた。 ・雑巾作りでは、老人福祉センターの利用者さんに教えてもらいながら、低学年の子も完成するまで集中して取り組むことができた。 ・新春お茶会では小さなお子さんからお年寄りまで多くの方に参加してもらえ、小さなお子さんも抹茶を口にし本物を味わってもらえた。 ・ふれあい豆まき会は、センター内課での合同事業で昨年より親子の参加（お父さんも一緒に親子も多かった）が多く来ていただけ、鬼の登場でも泣き出す子もなく、多世代交流の場としてふれあいが出来た。	
		手話交流(デイ)	14	7/22～8/26	太平デイサービス・老人福祉センター・児童センター・障害者福祉センターと合同で季節行事等を行い、世代を越えて一緒に楽しい時間を過ごし、お互いに助け合う気持ちを育む。			22	1,022	21	890	△ 1		△ 132
		でこぼこ夏まつり(デイ・児童・老人・障害)	1	8/2										
		わいわい教室(老人)	1	8/8										
		縁日(デイ)	1	8/16										
		雑巾作り(老人)	1	8/22										
		ハロウィン(デイ・児童・障害)	1	10/19										
		新春お茶会(老人・児童)	1	1/7										
		ふれあい豆まき会(デイ・児童)	1	2/1										
		小計	19	—					小計	26	1,192	25		1,007

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	H30 年度	R元 年度	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	
趣味・ 教養	2	<サークル活動>			趣味・教養の講座を開催し、技能や知識の習得をするとともに、参加者同士の交流の場とする。	8	8							サークル活動の継続支援 ・万年青の会さんは先生が教室を行えなくなったため平成30年度でサークルが終了となり、令和元年度4サークルとなったがどのサークルも積極的に行って見えた。布ぞうり、野菊の会は福祉センターで行った作品展に出展され、お茶お花サークルは新年の新春お茶会でお茶のお点前を披露していただけ日頃の成果の発表の場となった。
		パソコンサークル	24	第1・3水曜				24	160	24	146	0	△ 14	
		布ぞうり作り同好会	24	第2・4木曜				24	162	24	169	0	7	
		万年青の会	24	第2・4水曜				24	123	0	0	△ 24	△ 123	
		お茶・お花サークル	12	第1水曜				12	134	11	136	△ 1	2	
		野菊の会	24	第1・3月曜				24	99	24	95	0	△ 4	
		小計	108	—		小計	108	678	83	546	△ 25	△ 132		
その他	2	母子・父子寡婦福祉会		通年	母子・父子寡婦福祉会と連携を図り、活動のサポートを行うと共に、情報交換を行う。	14	14	—	—	—	489	—	—	・同じ階に売店があることもあり、常に情報交換や行事の参加の呼びかけが出来た。 ・新型コロナウイルスの影響で福祉センターが閉鎖されたため、売店の品物の期限が近いものなどの販売のお手伝いや閉鎖中店を閉められていたので掲示物を貼ったりと売店や寡婦会のサポートをすることが出来た。
		情報提供		通年	母子・父子福祉センターを広く知っていただき、利用者の開拓をする。 母子・父子家庭自立支援教育訓練給付金事業を推進する。	14	13	—	593	—	200	—	△ 393	・センターの存在や活動を多くの方に知っていただくため、児童館・児童センターや保育園に出向いて話をさせていただいた。 ・指定管理事業の終了に向けて、どのように市民や利用者の方に周知していくかが、今後の課題と考えている。
		小計	0	—		小計	—	593	—	689	0	△ 393		
		計	0	—	—	—	—	3,448	—	3,061	—	△ 387		

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。 仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点